これは何でしょう

答えについての思い出などもお待ちしています。

◪しめきり　8月15日(水)必着
◪あて先　〒783　南国市大埇甲二三〇一　南国市企画課親子クイズ係
◪賞品　正解者の中から抽選で5人の人に図書券を進呈

◎第291回親子クイズの答えは、七夕(かざり)でした。

第291回当選者発表（敬称略）
（応募総数35通）

小松　マリ（大　膝）
西川　美穂（緑ケ丘）
武市　泰江（稲　生）
小山　京子（岡　豊）
沢本　卓誠（緑ケ丘）

広場

おとまり保育

ひとりでちゃんとだってみんながいっしょだもん とまれるよ！

や～っと、きたよ！「おとまり保育」。ワクワクして夕べから眠れなかったんだ。きくぐみ（5歳児）のお友だち25人と一緒におとまりするんだよ。

このおとまり保育も今年で20回目なんだって。園長先生のお話では、「親と離れて過ごすなかで、自分に対する自信を持たせることと、親・保母・ぼくたちやわたしたちの間の信頼を深めること、そして、集団生活のなかで、自分の役割をきちんと自覚させること」がねらいなんだって。

みんなでお買い物　お金足りるかな

ぼくたちやわたしたちで、スーパーに買い物にも行ったし、カレーライスも作ったんだよ。もしかしたら、先生よりもぼくたちやわたしたちのほうが、料理は上手かもしれないな！

7/12～13

おいしいカレーを食べた後は、楽しい宝さがしやキャンプファイア、花火で遊んだよ。

おフロにもちゃんと入ったから、そんなに心配しないでね、お母さん。今度、一緒に寝てあげるから……。

アッそうだ！　朝の散歩の途中、地域のなかにある桃畑で、桃狩りもしたんだよ。

西村のおじちゃん（西村英雄さん：東崎）大きくて、おいしい桃をありがとう。

早起きしての桃狩り
おいしい桃がいっぱい

思い出がいっぱい

◆今では家ごとの七夕まつりをあまり見かけませんが、私たちの子どものころは、旧暦の七月六日のお昼ごろから七夕まつりの準備にかかりました。

まず、竹を二本、山からとって来て、自分の願いごとを短冊に書いてくくりつけ、竹と竹の間に新しくとれた稲の藁で縄をない、その縄の間にナス・ホオヅキ・フロ・里芋の葉の中に水お米・お酒を入れて、お供えしたことでした。なつかしい思い出です。（武市　巻）

◆『七夕』という字。きれいだと思いませんか？どうしてこれで、「たなばた」と読むのかは不明。（橋本加奈子）

◆笹のはさらさら～。小さいとき、折り紙を切って飾りをお母さんと作り、おじいちゃんに竹を切ってもらって、毎年飾りました。願いごとも書いてたくさん飾りました。（桑尾麻美）

◆今年から保育所に通っている姫は、保育所での夕涼み会を楽しみにしています。たくさんのたなばたかざりを作っているようです。（西森沙弥乃）

みんなの

さわやかさん

「アサヒきりっと娘」野村　多恵さん（里改田）

四国限定生ビール「四国麦酒きりっと生」のイメージガールとして活躍中の野村多恵さん。今年三月に行われた最終選考会で、四国四県から応募のあった総勢四百十二人の中から高知県代表として選ばれました。

自分がイメージガールに選ばれるとはまったく思っていなく、最終選考会に残ったという知らせを受けるまで、応募したことさえ忘れていたとか。

その最終選考会では、一発芸を披露してほしいとの質問もあり、モデル歩きや背筋力をアピールする猛者の中、野村さんはとびっきりの笑顔で臨んだそうです。

イメージガールになって何がうれしかったですか？という問いには、「五十人ぐらいの知り合いや友だちからお祝いの電話があったことと、キャンペーン移動中にJRで乗りあわせた見知らぬおじさんが、そのビールを飲んでいるのを見かけたときが大変うれしかったです。」とにこやかに答えてくれました。

現在、TVのCMも検討されているということなので、近いうちにお茶の間で、野村さんの素敵な笑顔に会えるかもしれません。

短歌

みどり児に遊びゆくよなうたた寝の
　夏の夕べ　藤原　小松　延江

六月の風に鼻をひらきしや
　泰山木の花は香りぬ　立田　島田美津子

幼さを通ぎて満巻く青葉樹の
　朝ふかき峡に老鶯鳴渡る　三島　有元　一馬

亡き主人を忘るるために短歌つくり
　今日も一日暮れにけるかな　立田　北村　幸江

燈籠に廻り提灯祭壇花
　み霊かえりて心安めり　久礼田　澤村　良

俳句

病人の呼吸に合わぬ梅雨の蝶　福船　大畠　新草

眠を焼く音の窓かな梅雨晴間　福船　和田ひでみ

蝸牛殻やし続けるうすら闇　堀ノ内　北岡　高子

玄関の竹に七夕飾らうか　緑ケ丘　細長ゆき

花菖蒲見つめる前で暮らい聞く　大埇甲　佐竹　千代

川柳

編みものにかよえど手は上がらない　十市　北村あい子

外は雨くもりガラスを拭く孤独　甘枝　島田八重子